ハッシュタグ

社会運動を広めるうえでハッシュタグがどのように役立ってきたかを学びます。さらに、ソーシャルメディアのハッシュタグがアドボカシー活動の認知度向上に果たす役割について検証し、自分が興味のある問題を広めるためのハッシュタグや方法を考えます。

ハッシュタグを使用したアクティビズム

パート1

以下の内容を伝えます。

個人が、特定のソーシャルメディアプラットフォームを使用して特定の啓発活動･アドボカシーキャンペーンを行うことはよくありますが、これらのプラットフォームにはいくつかの共通点があります。共通する便利な機能の1つはハッシュタグです。ハッシュタグを使用すると、自分の投稿を同じトピックに関する投稿とリンクできるため、自分のアイデアに多くの人の関心を引き寄せることができます。例えば、最近のサッカーの試合でストライカーがハットトリックを達成した動画をシェアする場合、動画の説明に「#football」と「#hattrick」を付けることで、サッカーの動画を探している人に見つけてもらうことができます。
プロのスポーツスカウトがその動画を見る可能性も高まります。

また、ハッシュタグはアドボカシープロジェクトに特に有効です。例えば、米国フロリダ州で黒人少年のトレイボン･マーティンが警察官に射殺された事件が起きた後、多くの人権活動家が米国の人種問題について#BlackLivesMatterというハッシュタグを付けて投稿するようになりました。このハッシュタグが広まるにつれて、「#BlackLivesMatter」で検索し、現在の米国における有色人種の人たちの個人的な経験や警察との関わりについての投稿を見る人がどんどん増えていきました。
ソーシャルメディアを使用したアクティビズムにより、Black Lives Matterは、影響力のある人たちが支援する強力なアドボカシー運動に発展しました。

ハッシュタグは、世界規模で大変効果のあるソーシャルメディア活用法です。ナイジェリア･チボクの高校から女子生徒276人がテロ組織ボコ･ハラムによって誘拐された際、ナイジェリアの人々は、ソーシャルメディアでこの事件に関する認知度を高めるために、「#BringBackOurGirls」というハッシュタグを付けたコンテンツを投稿しました。 その結果、影響力のある有名人や著名人をはじめとして、事件に対する支援の声が世界中からまたたく間に集まりました。

ハッシュタグを使用したアドボカシー活動の例は、他にも世界中にたくさんあります。例えば、2012年にメキシコで大統領選をきっかけに「#YoSoy132」という学生運動が広がり、2014年には香港の大学生が「#umbrellarevolution」のかけ声のもとに民主化を求める抗議活動を行いました。また、チリでは大学生が「#MovimientoEstudiantil」を使用して教育改革を訴えました。

アドボカシー活動を行う場合、ハッシュタグは対象者に自分の考えを伝える有効な手段となります。次の演習では、ソーシャルメディアにおけるハッシュタグの使用について検討します。

課題

パート1

クラスインタラクション

参加者を2人ずつのペアにします。

以下の内容を伝えます。

ペアごとに、最近何らかの問題を提起するために使用されたハッシュタグを探します。

ハッシュタグを見つけたら、どのような会話や議論が行われているかを調査し、その概要をまとめます。概要をグループの他のメンバーに口頭で説明します。

15分間で、ハッシュタグを探し、概要をまとめてください。

クラスインタラクション

参加者に15分間の作業時間を与えます。終わったら、各ペアは15分間で概要をグループに説明します。

以下の質問を投げかけます。

そのハッシュタグを使用して、どのようなコンテンツがシェアされていますか。

異なるハッシュタグを使用して、似たようなメッセージのやりとりが行われていますか。なぜそのようなことが起きている/起きていないと思いますか。

他のハッシュタグよりも効果的(再投稿される可能性が高いなど)だと思われるハッシュタグはありますか。それはどのハッシュタグですか。なぜそう思いますか。

パート2

以下の内容を伝えます。

次に、各ペアは自分たちにとって重要なテーマを1つ決め、

1. そのテーマのハッシュタグを作成します。

2. 次に、ハッシュタグを宣伝するための画像、インフォグラフィック、ミーム、チャート、グラフなどをデザインします。

3. ネットワークを通じてハッシュタグを広めるさまざまな方法をパートナーと話し合ってください。他のハッシュタグの検証から学んだ効果的な戦略にはどの

ようなものがありますか。

この演習の時間は30分間です。

クラスインタラクション

参加者に、この演習にパートナーと取り組む時間を30分間与えてください。その後に、自分たちが考えたハッシュタグとそれを広めるためのビジュアルやアイデアについてグループの他のメンバーと話し合う時間を20分間設けます。

この学習コンテンツは、ハーバード大学バークマン・センターのYouth and Mediaチームによって開発され、クリエイティブ・コモンズ表示-継承4.0国際(CC BY-SA 4.0)パブリックライセンスに基づいて提供されています。これらのコンテンツは、Youth and Mediaチームをオリジナルソースとしてクレジット表記する限り、商業利用か否かにかかわらず、複製や派生物の作成を含む利用が許可されます。また、複製物や派生物を共有する際にも同じ条件が適用されます。提供中の学習コンテンツおよび今後提供される学習コンテンツは、バークマン・センターのオンラインプラットフォーム、Digital Literacy Resource Platformにも用意されています。